

2016年7月12日

各位

JXホールディングス株式会社

## 「第47回JX-ENEOS童話賞」の作品募集結果について

当社(東京都千代田区大手町一丁目、社長:内田幸雄)が作品を募集した「第47回JX-ENEOS童話賞」に、このたび11,047編のご応募をいただきましたので、お知らせいたします。

一般の部	8,939編
中学生の部	1,010編
小学生以下の部	1,098編
計	11,047編

1970年から今回で47回目を迎える本童話賞では、毎年、「心のふれあい」をテーマとするオリジナル創作童話を募集し、優秀作品を表彰しております。

今回も4歳から96歳までの国内および海外15か国の方々から、多数のご応募をいただきました。

西本鶏介先生(児童文学者)をはじめとする選考委員会における厳正な審査を踏まえ、各部門の入賞作品(最優秀賞、優秀賞、佳作、奨励賞)を10月中旬(予定)に決定し、11月18日(金)に授賞式(佳作以上)を開催する予定です。

また、佳作以上の入賞作品は、一冊の童話集「童話の花束」にまとめて発行するとともに、全国の教育機関や社会福祉施設などに寄贈しております。

以上

添付資料：①第47回JX-ENEOS童話賞 作品募集要項概要

②JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENEOS童話基金について

(ご参考)

前回(第46回JX-ENEOS 童話賞)の応募総数：13,093編

前々回(第45回JX-ENEOS 童話賞)の応募総数：11,370編

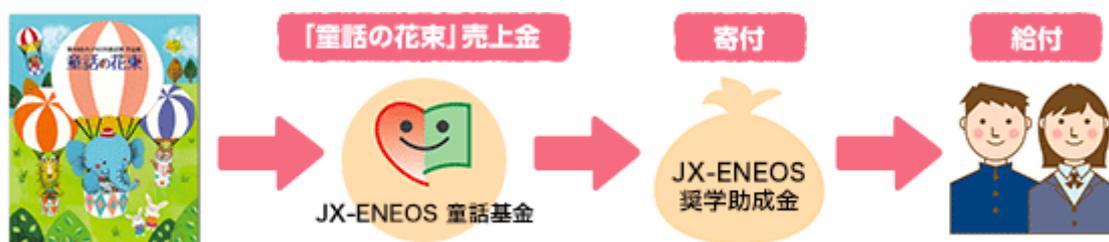
## 【 第 4 7 回 JX-ENEOS 童話賞作品募集概要 】

1. 主 催  
J Xホールディングス株式会社（運営：J Xエネルギー株式会社）
2. 後 援  
全国連合小学校長会／全日本中学校長会／全国市町村教育委員会連合会／  
全国小学校国語教育研究会／全日本中学校国語教育研究協議会
3. 募集期間  
2016年3月1日（火）～2016年5月31日（火）
4. 募集内容  
「心のふれあい」をテーマとした創作童話で、未発表の完全にオリジナルな作品に限ります。
5. 応募資格  
アマチュア（合作、共作などをご応募いただけません。）
6. 応募区分と表彰
  - (1) 応募区分  
一般の部／中学生の部／小学生以下の部の3部門
  - (2) 表彰
 

＜一般の部＞	最優秀賞 1編 賞状、賞金100万円、記念品
	優秀賞 2編 賞状、賞金30万円、記念品
	佳作 5編 賞状、賞金10万円、記念品
	奨励賞 5編 賞状
＜中学生の部＞	最優秀賞 1編 賞状、図書カード10万円分、記念品
	優秀賞 2編 賞状、図書カード5万円分、記念品
	佳作 2編 賞状、図書カード3万円分、記念品
	奨励賞 5編 賞状
＜小学生以下の部＞	最優秀賞 1編 賞状、図書カード10万円分、記念品
	優秀賞 2編 賞状、図書カード5万円分、記念品
	佳作 2編 賞状、図書カード3万円分、記念品
	奨励賞 5編 賞状
  - (3) 表彰式  
佳作以上の受賞者の方々には、11月18日（金）に開催予定の授賞式にご出席いただきます。
7. 発 表  
2016年10月中旬予定（詳しくはホームページをご確認ください）  
最優秀賞・優秀賞・佳作および奨励賞を受賞された方々については、郵便による通知とホームページ上にて発表いたします。（落選された方には個別の連絡はいたしません。）
8. 選 考  
西本鶏介（児童文学者）／立原えりか（童話作家）／角野栄子（童話作家）／中井貴恵（女優・エッセイスト）／宮西達也（絵本作家）／薫くみこ（児童文学作家）／J X-ENEOS 童話賞選考委員会

## JX-ENEOS童話賞作品集「童話の花束」およびJX-ENEOS童話基金について

1. JXグループは、JX-ENEOS童話賞受賞作品を一冊の童話集「童話の花束」としてまとめ、全国の教育機関、児童福祉施設および里親家庭などに寄贈しています。
2. また、「童話の花束」は、チャリティー販売を通じて広く一般の方々や、ENEOSのサービスステーションを運営する特約店・LPガスの特約店の皆様にお買い上げいただくほか、JXグループの役員・従業員も購入しています。その売上金は「JX-ENEOS童話基金」に組み入れられ、同基金から毎年、社会福祉法人全国社会福祉協議会（以下、全社協）に寄付を行っています。2015年度は、4,560万円を寄付いたしました。  
この寄付金は、全社協が設立した「JX-ENEOS奨学助成制度」により、全国の児童福祉施設や母子生活支援施設、里親家庭で暮らす子どもたちが、大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として活用されています。2015年度は2014年度と同数の480名の子どもたちが受給しました。2004年に助成制度を開始して以来、これまでの受給者は4,276名、助成金の累計額は4億1,685万円となっています。
3. なお、「童話の花束」に使用する製紙原料には、JXグループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用されています。間伐などの森林整備により、木々の生育が健全となることから、国内の二酸化炭素吸収量の拡大に貢献しています。JXグループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。



JX-ENEOS童話賞や「JX-ENEOS童話基金」などの詳細については、JXグループのWEBサイト (<http://www.jx-group.co.jp/hanataba/>) をご覧ください。

以上